

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 国内連携分科会（第25期・第1回）  
議事要旨

1 日 時 2021年11月9日(火) 15:30～18:00

2 方 法 オンライン開催（Zoom）

3 出席者 委員：小林傳司、高村ゆかり、狩野光伸、古谷研、沖大幹、三枝信子、春山成子、江守正多、大手信人、福士謙介

オブザーバ：安成哲三、山本百合子、山内太郎、春日文字、神志那ゆり、事務局 薦田、小山（以上、敬称略）

4 議題

- 1) 分科会役員の選出
- 2) 今期の分科会及び国内連携の進め方について

5 配布資料

資料1：FE日本委員会総会討論資料 2021.10.20

資料2：Future Earth Engagement Principles and Practice 日本語版（案）

6 議事内容

議事に先立ち、事務局（薦田）より委員会の進め方について説明がなされた。

1) 分科会役員の選出

委員長：沖委員長から江守委員が推薦され、江守委員の委員長就任が承認された。

副委員長：江守委員長より小林委員が指名され、承認された。

幹事：江守委員長より三枝委員が指名され、承認された。

2) 今期の分科会及び国内連携の進め方について

- ・江守委員長から分科会設置の経緯について説明があり、第25期としては、FE日本委員会に学術会議の活動を繋ぐことを目的の一つにしたいとの考えが述べられた。委員からは、親委員会の活動を企画する役割も果たせるとよい、日本委員会と各種団体のリエゾンになるとよい、理系の学会と文系の学会を連携させる企画ができるとよい、等の意見が出された。
- ・江守委員長から、資料1に基づきFE日本委員会総会の報告がなされた。日本委員会の活動として重要なものに日本サミットがある。第1回日本サミットは2019年12月に開催され、Global Research Projects (GRP)やKnowledge-Action Network (KAN)、国際事務局、その他の国内の団体が一堂に会してネットワーキングや議論を行った。次回の日本サミットに本分科会からどのように関与するかについても本分科会で話し合いたいとの考えが示された。

- ・続いて、各委員の自己紹介を兼ねたコメントが順次述べられた。  
各委員の自己紹介・コメントを通じて、「文理融合」「ステークホルダーとの連携」「組織作り・研究予算の必要性」についての課題の認識が共有され、追加のコメントがなされた。
- ・日本サミットへの働きかけについては、安成氏より、「人新世」「脱炭素」などのキーワードに加え、脱炭素の先にどういう社会をつくるのかという FE 的な考え方を前面に出してはどうか、狩野委員から、企業から参加してもらえるといいとの意見が出された。これを踏まえ、江守委員長より、「文系・企業との認識共有をすること」をサミットのテーマとするのはどうかとの提案があった。
- ・今後の進め方については、沖委員より、あと 1 年半の中で何を成果とするのか。親委員会の方で早めに成果を提言としてまとめていくという意見もあり、それを踏まえると、今回は、年内が可能であればもう 1 回、難しければ年始に行い、内容を具体化していくのはどうかとの提案がなされた。

以上